



5月30日・31日、ちちぶ花見の里で「ちちぶ荒川春そばの花見まつり」が行われました。約150万本のそばの花が一面真っ白に咲き誇る中、訪れた人たちは打ちたてのそばやみそポテトなどを堪能していました。秩父市新イメージキャラクター「ポテくまくん」も登場し、人気を集めていました。



ちちぶ トピックス

おいしい米作りにカブトエビがー役



6月10日、吉田フルーツ街道沿いの田んぼで、田植えが行われ、カブトエビ農法を用いた環境にやさしい米作りに吉田小の5年生がお手伝いしました。東京農業大学昆虫機能開発研究室が地元のハウネンエビを守る会と協力して、埼玉県中山間地域ふるさと事業の一環として行っているものです。

当日は青空の下、子どもたちの楽しそうな声が田んぼに響いていました。

外来生物対策は継続が大切です！



6月6日に環境市民会議のオオキンケイギクの除草が行われました。外来生物のオオキンケイギクは強い繁殖力で在来植物を駆逐してしまいます。前日の雨で地面が柔らかくなっていましたが、根を広げたオオキンケイギクはなかなかの強敵でした。

参加者の皆さんの頑張りでたくさんのオオキンケイギクを除草することができました。

奥秩父山系山開き 山の安全を祈願



登山シーズンを迎えた奥秩父の山々は、これから大勢の登山者でにぎわいます。6月7日、霧藻ヶ峰山頂にある、秩父宮様ご夫妻レリーフ前で奥秩父山系の山開きと登山の安全祈願が行われ、お浄めの切幣が舞うなか、山の安全を願いました。

4年連続勝利！ご協力ありがとうございました！



5月27日に「チャレンジデー2015」が、町会や大勢のボランティアの皆さんのご協力により各地域で開催されました。今回は岐阜県羽島市と対戦し、秩父市の参加率68.9%、羽島市の参加率67.7%で秩父市が勝利しましたので、羽島市役所に秩父市旗が掲げられました。市民の皆さんには、今後もスポーツを習慣づけて、自身の健康増進に努めていただければと思います。

まちの美化が農業を守ります！



井森の環境を守る会が、農業・農村が持つ多面的機能を発揮させる活動に取り組んだ優良事例として、埼玉県多面的機能支援推進会議から表彰されました。

サルの追払い、山の蔓の伐採、道路沿いの農地へ花の植栽などの活動により地域が華やき、ゴミもなくなったそうです。